

パネルディスカッション

パーパス経営の実践
—アナリストの役割は何か—

＜パネリスト（五十音順）＞

酒井 幹夫

不二製油グループ本社株式会社
代表取締役社長

内藤 晴夫

エーザイ株式会社
取締役 兼 代表執行役CEO

中神 康 議 CMA

みさき投資株式会社
代表取締役社長

■司会者

丹羽 真理

アイディール・リーダーズ株式会社
共同創業者／CHO

目

次

1. パーパス経営とは
2. パーパス経営におけるアナリストの役割

3. パーパスへの共鳴
4. 個人のパーパス

1. パーパス経営とは

丹羽 アイディール・リーダーズは、野村総合研究所の社内ベンチャーから独立したコンサルティング会社で、2015年に創業した。私は、共同創業者であるとともに、CHO (Chief Happiness Officer) という役割も担っており、社員が幸せな組織づくりに関心を持っている。事業内容は、

エグゼクティブ・コーチングとパーパス・マネジメント・コンサルティングである。企業から、「パーパスを考えてみたいので伴走してほしい」「理念、ミッション、ビジョンはすでにあるが、社員の共感を得られていない」などの相談を受けることが多い。私は、2018年に『パーパス・マネジメント—社員の幸せを大切にする経営—』（クロスメディア・パブリッシング）という本を出版し

(このパネルディスカッションは、2022年10月14日(第37回日本証券アナリスト大会開催日)に行われた)